

各常任委員会の 主な質疑から

総務防災常任委員会

問 県民に対する放射能被曝の不安を払拭し、安心感をもってもらうために、放射線量の数値目標を掲げる必要があると思われるが、どのように考えるか。

答 県では、去る十一月二十五日に「除染に関する対処方針」を策定し、追加被曝線量が年間一ミリシーベルト以下となることを目指すとしたところである。

問 除染についての具体的な作業行程については、県において優先順位を検討した上で、市町村が策定する除染実施計画と調整を図りながら検討していきたい。

総合企画水道常任委員会

問 平成二十二年十月の羽田空港の拡張に伴う県内の騒音問題に関連して、平成二十二年十一月に国土交通省から千葉市上空の飛行ルートについて改善案が提示されたが、今回の飛行ルートの変更で千葉市内の航空機騒音は軽減されるのか。

答 千葉市内の航空機騒音について、これまで県と千葉市では、国土交通省へ飛行ルートの変更の考え方を示して、その改善を要求してきたが、今回、国土交通省から示された改善案は、この考え方を反映したものである。

これにより、千葉市全体としての航空機騒音は軽減されるものと考えているが、これはあくまで短期的に対応可能な軽減策であり、

県下全体の騒音の軽減を図るため、飛行高度の引き上げなど、さらなる軽減策を、関係市町と引き続き連携して、国土交通省へ要請していく。

健康福祉常任委員会

問 認知症対策として、地域医療再生計画では、認知症に詳しい医師を確保し、地域連携を図っていくこととしているが、このような医師は何名いるのか。

答 県では、認知症診断の知識や技術等を習得するためのかかりつけ医認知症対応力向上研修を実施しており、平成二十二年年度末までに五百四十六名の医師が受講した。

また、県内には、認知症の治療に習熟し、かかりつけ医への認知症診断等の助言を行う認知症サポート医が九十九名、さらに日本認知症学会等の学会認定専門医が約三十名いる。

問 放射能に汚染された焼却灰の一時保管場について、県有地などを一時保管場所とすることを鋭意検討していることだが、県有地を一時保管場にした場合、一時保管施設の安全確保をどのように図っていくのか。

答 安全が確保できる適切な距離をとって保管するとともに、飛散・流出対策に万全を期すこととしている。

環境生活警察常任委員会

問 定期的な空間放射線量のモニタリングを行い、安全確保が適切に講じられていることを確認し、その結果を公開していきたい。

答 これまでの実績では新製品の開発が、平成二十一年度は二件、二十二年度は七件であり、今年度は八件に助成している。

また、定期的な空間放射線量のモニタリングを行い、安全確保が適切に講じられていることを確認し、その結果を公開していきたい。

商工労働企業常任委員会

問 東日本大震災で農業、漁業も被害を受けているが、千葉農工商連携支援事業の最近の支援状況はどうなっているのか。

答 これまでの実績では新製品の開発が、平成二十一年度は二件、二十二年度は七件であり、今年度は八件に助成している。

平成二十二年年度までに行われた十件については、四件が事業化され、商品として販売されており、新聞に取り上げられ話題になっているものもある。

問 県としても、非常に重要な事業と考えており、今後も、しっかりと取り組んでいきたい。

農林水産常任委員会

問 震災等により甚大な被害を受けたノリ養殖が再開されたことだが、県が実施するノリ養殖施設復旧事業の進捗状況はどうか。

答 被害を受けたノリ養殖施設については、国の災害復旧制度を増えることになっている。

問 国の第三次補正予算において、圏央道整備の事業費として三十六億円が措置され、県においても直轄事業負担金として十二億円の補正要求がなされているが、この補正予算は、圏央道のどの区間に使われるのか。

また、今年度の事業費は何%増えることになるのか。

答 今回の補正は、圏央道の東

県土整備常任委員会

問 活用した施設の復旧と併せて、県単独の助成を行うため、平成二十三年五月臨時県議会で補正予算を計上したところである。

その後、十一月末に国による現場査定を受け、ほぼ、復旧計画どおりの内容が認められたため、査定事業費の十分の九にあたる二億四千四百万円余の補助金が内示された。

この補助金と、県単独分の十分の一を合わせた事業費は二億七千万円余となる予定である。

今後は、補助金を被災した漁業者に速やかに交付するよう努めていく。

文教委常任委員会

問 給食用食材における放射性物質の検査機器整備について、国の補助制度と、県の対応はどのようになっているのか。

答 国の第三次補正予算で、本県を含め十七都県を対象に学校給食用食材の放射性物質検査に必要な設備等の経費が補助されることになり、補助申請を行ったところである。

なお、検査の実施方法等については、県の関係部局や市町村等の意見も聞きながら検討していきたい。

また、今年度の事業費は何%増えることになっているのか。

答 今回の補正は、圏央道の東

「予算委員会」を設置

2月定例県議会における県の新年度予算及び関係する議案を横断的かつ多角的に審査するため、予算委員会が設置されました。

自 民 党	○伊藤 友則 藤部 友澄 遠藤 正 白野 吉敏 江野 正 瀧野 正 斉小	勲 則夫 一克 幸守 昭	木岡 阿木 鈴木 武 関	名 村 井下 木 田	瀬 村 井下 木 田	捷 泰 伸 敬 正 政	司 明 也 二 衛 光 幸
民 主 党	堀 石 大	江 井 川	は 宏 忠	つ 子 夫	天 高	野 橋	行 雄 浩
公 明 党	藤 小 山	井 弘	之 実	赤 間	野 橋	正 明	雄 浩
共 産 党	山 本 友 子	水 野 文 也	長 嶋 一				
市民ネット・社民・無所属	水 野 文 也	長 嶋 一					
みんなの党	水 野 文 也	長 嶋 一					
千葉県民の声	水 野 文 也	長 嶋 一					
無所属の会	水 野 文 也	長 嶋 一					

◎委員長 ○副委員長

平成24年2月定例県議会会期及び議事予定(素案)

月 日	議 事 予 定	開議予定時間
2月17日(金)	開会 知事提案理由説明	午前10時
18日(土)	土曜日のため休会	
19日(日)	日曜日のため休会	
20日(月)	議案調査のため休会	
21日(火)	//	
22日(水)	//	
23日(木)	質疑並びに一般質問	午前10時
24日(金)	//	
25日(土)	土曜日のため休会	
26日(日)	日曜日のため休会	
27日(月)	質疑並びに一般質問	午前10時
28日(火)	//	
29日(水)	//	
3月1日(木)	//	
2日(金)	委員会審査準備のため休会	
3日(土)	土曜日のため休会	
4日(日)	日曜日のため休会	
5日(月)	予算委員会開催	午前10時30分
6日(火)	//	
7日(水)	//	
8日(木)	常任委員会開催(健康福祉・文教)	午前10時
9日(金)	// (総合企画水道・商工労働企業)	
10日(土)	土曜日のため休会	
11日(日)	日曜日のため休会	
12日(月)	常任委員会開催(環境生活警察・県土整備)	午前10時
13日(火)	// (総務防災・農林水産)	
14日(水)	委員会予備日のため休会	
15日(木)	総合調整のため休会	
16日(金)	委員長報告等 採決 閉会	午後1時

*本案はおおよその日程であり、招集日前の議会運営委員会で協議し最終決定します。

可決・同意された議案

- 平成二十三年度補正予算関係(三件)
- 一般会計(二件)
- 特別会計(二件)

可決された意見書

- 自動車重量税廃止制度の拡充を求める意見書
- 防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書

採択された請願

- 千葉県の子どもの健康と未来を守るための放射能対策の充実を求めることについて(第一項~第五項)
- 看護職の確保・定着及び資質向上について(第一項~第四項)
- 地域医療確保のための薬剤師の資質向上及び薬局の体制整備について(第一項~第三項)
- 歯科技工士国家試験の全国統一化に関する意見書の提出について

文教委常任委員会

問 給食用食材における放射性物質の検査機器整備について、国の補助制度と、県の対応はどのようになっているのか。

答 国の第三次補正予算で、本県を含め十七都県を対象に学校給食用食材の放射性物質検査に必要な設備等の経費が補助されることになり、補助申請を行ったところである。

なお、検査の実施方法等については、県の関係部局や市町村等の意見も聞きながら検討していきたい。

条例の制定(二件)

- 千葉県東日本大震災市町村復興基金条例
- 千葉県スポーツ推進審議会条例

条例の一部改正(九件)

- 職員の給与に関する条例等
- 職員の特殊勤務手当に関する条例
- 千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
- 食品衛生法施行条例
- 千葉県環境影響評価条例
- 千葉県青少年健全育成条例
- 工場立地法に基づき地域準則を定める条例
- 千葉県林地開発行為等の適正化に関する条例
- 千葉県水道事業の設置等に関する条例
- 千葉県県国民宿舎の設置及び管理に関する条例

その他(二十八件)

- 契約の締結
- 財産の取得
- 財産の処分
- 当せん金付証券の発売
- 指定管理者の指定(二十二件)
- 教育委員会委員の任命(二件)